

飯田市今宮町付近の 36 災害

南信地区が 1961(昭和 36 年)6 月 24 日～7 月 10 日に渡り集中豪雨に見舞われました。山容崩壊で部落毎亡くなってしまうところがあるなど甚大な被害を出しました。

既にある弱電会社に就職しておりまして、その時は飯田におりませんでした。新聞が報じてまさかそんなにはと思っておりましたが、だんだん様子が分かり休暇を取って災害後 2 週間以内だったと思いますが、飯田線がある程度復旧し、市田だったか座光寺だったかから飯田市内まで代替え輸送のバスが通じるようになり、見舞いのため飯田を訪れました。この時撮影した写真映像です。

その時風越山 虚空蔵山からの鉄砲水をもとに喰ったのが、今宮球場横で住宅破壊に留まらず一人の犠牲者が出たと記憶しております。

父は、飯田の大火で被災し今宮町に移って味噌醤油醸造業の復興を図っている矢先でした。穀物倉庫は床上土砂浸入、住居は辛うじて床下浸水ですみました。



写真を見ながら遠景と現在の YAHOO 地図と対比して撮影方向を記入してみました。



(No.3) 今宮町松洞川越しに 現 73~74 番地を望む 少し高いところは無事



(No.5) 旧松洞川は自然の土手の底を流れていたが、鉄砲水の土砂で埋まり工場敷地に近くまで埋まった。掘り出し作業奉仕の皆さん。 写真は上流側から工場の東端を望む。中央にボイラー室と煙突が見える。



(No6) 氾濫する松洞川の川筋沿いに何とか食い止め田圃を越えて工場やその下の住宅街に達しないよう、杭を組んで土嚢で抑え守った跡が見える。マツオカヤ が見える建物は 味噌の速醸造蔵である。現在も同じ建物が立つが、新道計画に伴い、Yahoo 地図の駱駝屋さんの横に車の出入り口を開いている。



No. 15

罹災証明書

住 所 飯田市上島田千谷町

企 業 名 松岡屋醸造有限会社

代表者氏名 小塩 緑郎

上記の企業は昭和36年梅雨前線豪雨により下記の通り罹災したことを証明します。

損害見込額

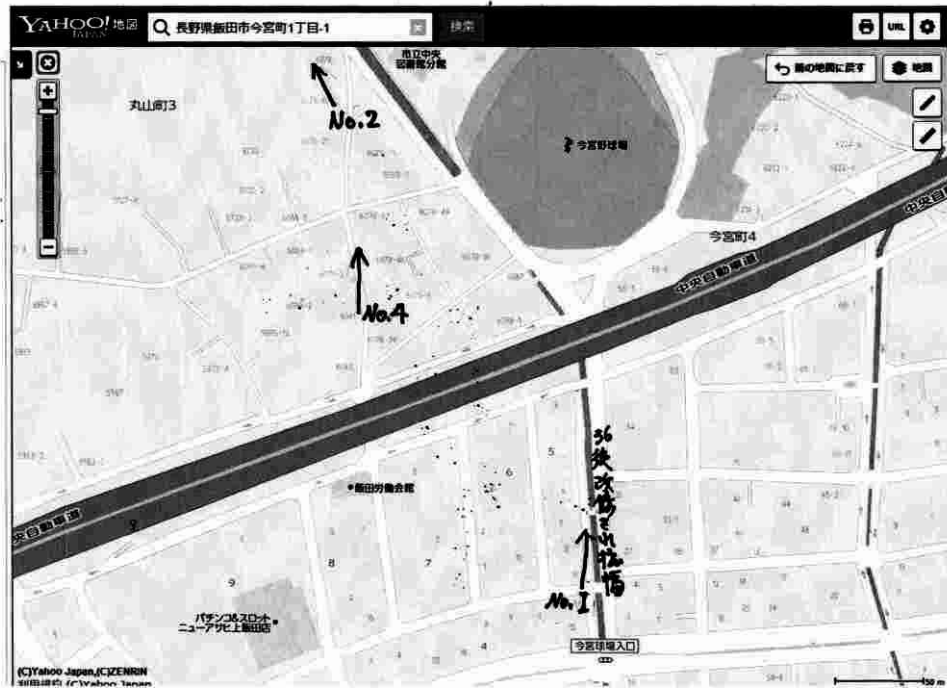
建物損害見込額	千円
機械設備見込額	2230 千円
材料製品見込額	1370 千円
その他	
計	3600 千円

昭和36年 7月 8日

長野県飯田市長

松 井 卓 治





現今宮球場入り口通りの1枚と虚空蔵からの鉄砲水の被害を受けた住宅が多い。
今宮神戸神社の山は赤土で流れにくく勢いこの川沿いに被害が大きく犠牲者が一人出た。



(N0.4)最も被害が大きく 虚空蔵からの鉄砲水で甚大な被害を出し 犠牲者も一人出たと聞いている。



(No.2) 鉄砲水に荒らされ付近の住宅を飲み込んだ。



(No.1) 今宮神戸神社への参道に当たる 現今宮球場入り口道路に堆積した土砂、遠景には飯田風越高校が見える。